

グループ紹介 ①

コーラス あじさい

「あじさい」という女声合唱団をご存知の方も多はず。日本人学校PTA女性コーラスグループで、学校のマロニエ祭や日本語スピーチコンテスト時に日頃の成果を発表しています。ちょっと練習風景をのぞいてみました。

日本人学校近くのesac(Ecole Supérieure des Arts du Cirque)内の一室を借りて、月に2~4回の練習を行なっています。校内には、トランポリンや吊り輪でアクロバットをしながら筋トレをしている若者がいて、一瞬場所を間違えたかなと思いますが、階段を上がると左手に16番教室があります。その教室に入ってみると、グランドピアノの伴奏に合わせて数人の女性が発声練習をしていました。

単に歌いながら練習をしているのかと思いきや、指導してくれるピアニストの倉澤みどり先生が、丁寧に体を動かしながら発声の仕方を説明していただきます。いかに上手に声を出すかは、喉からだけでなく、腹式呼吸をしてお腹に力を入れて、体全体で声が出るようにすることにかかっているとのこと。そのためには、日頃からの体を柔らかくするトレーニングや歌う前の簡単なウォーミングアップでリラックスします。こうすると、声の出がよくなり、練習もスムーズに進みます。

軽い体の動きが終わったら、口を動かす練習、声を正しく出すための発音練習が始まります。「虎を取るなら、虎を取るより鳥を取れ、・・・」と早口言葉のように正しく発音しながら、少しずつテンポをあげて発音していきます。舌がだんだん柔らかく動くようになり、発声しやすくなります。

そして、1曲を段落ごとに説明を受けながら発声練習していきます。グループは、ソプラノ・メゾソプラノ・アルトに分かれて席に着き、歌い始めます。「目をつぶって歌



うなんて、100年早いです。我々はアマチュアなので、観客の皆さんに聞いてもらう歌を歌うのです。表情を豊かにして歌いましょう。」と先生からの説明。楽譜も、音符と歌詞のコピーに加え、歌詞の説明や言葉の解説なども先生が用意してくださいます。歌いながら日本の文化にも触れられて、一石二鳥ですね。

この合唱団は、小さな花が寄り添い合って大きな美しい花を咲かせる「あじさい」のように、みんなの小さな声を寄り添わせながら、美しいハーモニーを奏でたいという思いから、「あじさい」と命名されました。メンバーは日本人学校PTAに限らず、日本や日本語、歌や合唱に興味のある人を募って合唱団を構成しています。歌を通して日本の四季、文化に触れて、美しく正しい日本語とその響きを大切に、日本の歌を中心に練習しているそうです。定例の日本人学校でのコンサートをはじめ、機会があれば自主公演や現地のイベントに参加したりして、日本の歌をベルギー人にも広めています。選曲は、メンバーからのリクエストや先生の選択まで様々です。歌えばストレスの解消になり、練習後の会話中に情報交換ができ、外出のいい理由になる、と参加メンバーは週1回の練習日を楽しみにしています。家庭内でも子どもと一緒に歌ったり、家事をしながら発声の練習をしたりと、日頃から向上に意欲満々でした。

現在、メンバーを募集中。駐在員組が多いため、時々メンバーの入れ替わりがありますが、気持ちはいつも一つ。ベルギーの思い出作りに、日頃から楽しい歌を歌ってコンサートに出演してみませんか？

詳細・入会申し込みは、下記メールアドレスまで。

コーラス「あじさい」

<https://ameblo.jp/chorus-ajisai>

練習日時：月2~4回、火13h~15h、夏・冬休みあり

会費：€10/月(年数回まとめ払い)

発表会：日本人学校マロニエ祭、日本語スピーチコンテスト他、自主公演やベルギーの文化イベントに参加

お問い合わせ・入会申し込み

ajisai-belgium@hotmail.co.jp



*プチボワ紙面内で紹介したいグループがありましたら、メールにてお問い合わせください。mail@petits-pois.be